

第 50 回新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事要旨

日時:令和4年4月18日(月) 午後2時40分 ~ 午後3時40分

場所:庁議室

1 開 会

2 議 題

(1)市内の感染状況について

◎保健医療課長

- ・市内の感染者数について、直近2週間は減少傾向にあるが、4月に入っても1日の感染者数が150人を超える日もあり、高止まりの状況。
- ・狭山保健所から提供された情報では、10～20歳代の感染者数が増加しており、小児の患者も熱性けいれんが目立つ。引き続き、「マスク会話距離1m」と「マスク会食」の徹底が必要。

◎副市長

- ・第6波においてこれだけ感染が多いのはなぜか。第5波との違いは何か。

◎事務局

- ・第5波の時は、ワクチン接種率が高く、それに比例して感染者数が落ち着いた。
- ・第6波で感染者数が増加した理由として、保健所の見解にあるとおり、BA2株への置き換わりが進んだこと、高齢者と比較し若年層の3回目ワクチン接種が第5波程進んでいないことが考えられるが、いずれも決定的な要因とは言い切れない。
- ・オミクロン株は、感染から発症までの潜伏期間が短く、発症しても軽症の場合が多い特徴がある。そのため、感染してからさらに他者へ感染させる時期が早くなり、感染拡大につながった可能性も考えられる。

◎市民医療センター事務部長

- ・市民医療センターでは発熱外来を行っているが、ピーク時の令和4年2～3月は陽性率が約60%だったが、直近では40%半ばに下がっているため、新規感染者数は若干落ち着いてきている印象がある。

(2) 自宅療養者支援について

◎保健医療課長

- ・主に軽症のため自宅療養中の患者に対し、以下の支援を行っている。

1. パルスオキシメーターの配布（事業開始：令和4年1月中旬～）

① 【県からの貸与分】市民への貸し出し

埼玉県から日々提供される自宅療養支援対象者リストのうち、パルスオキシメーターが必要とされる患者宛て、レターパックにより郵送している。

② 【所沢市購入分】所沢市医師会への貸与（事業開始：令和3年9月上旬～）

市が用意したパルスオキシメーターについて、医師会を通じて市内医療機関に配布し、患者受診時に、診断した医師が必要と判断した場合に、患者へ貸与している。

2. 食糧支援（事業開始：令和3年9月中旬～）

埼玉県でも食糧支援を行っているが、届くまでに2～3日かかるため、自宅療養者本人の申出を受け、その間を補完するものとして、危機管理室が対応。

3. 酸素濃縮器の貸し出し（事業開始：令和4年2月～）

症状により必要と判断した方へ酸素の供給ができるよう、医師会からの要望もあり、現在は市が用意した酸素濃縮器5台を狭山保健所へ貸し出しを行っている。

◎危機管理監

- ・令和3年9月から事業を開始し、当初は備蓄のアルファ米を活用していたが、感染者数の増大を受け、不足となるため、社会福祉協議会の協力を受け、ご飯やレトルト食品等を確保し、2～3日分の食糧を届けている。
- ・直近では1日平均20食分として、予備費を活用し、6月補正により予算を確保し、7月以降の食糧を準備していきたいと考えている。

◎事務局

- ・埼玉県のホームページによると、4月17日時点の病床使用率は34.3%（うち、重症者用：6.7%）であり、酸素ステーションも稼働していないので、ほとんどが自宅療養である。

(3) 市職員の感染状況について

◎保健医療課長

- ・4月17日時点の累計感染者数は21,207名、市職員等（委託業者社員も含む）の累計感染者数は500名であり、市職員総数のうち、2割程度となる。
- ・職員等の感染が報告された後、感染拡大を防ぐため、職場での濃厚接触者等の調査について、市役所（別館含む）については総務部・健康推進部の保健師が対応し、学校、保育園、児童クラブ等については、各施設等を所管する部署の保健師が対応している。
- ・特に、保育園を所管する保育幼稚園課にて、調査の負担が非常に大きい状況が続いている。
- ・これまでの調査報告を見ると、気の緩みや慣れ等が見受けられる。改めて、会話時のマスク着用や手洗い等の基本的な感染防止対策の徹底をお願いしたい。

◎こども未来部長

- ・保育園関係の感染者の報告は1日2～3件程。マスクをしていない3歳未満の児童が多い。
- ・令和4年1月～3月までに500件以上の報告を受けており、うち、園児の感染が300件以上を占めている。
- ・保育園では、一人感染者が出ると、積極的疫学調査に加え、園自体を止めるのか、クラスのみを止めるのか、感染拡大防止の観点に加え、保護者への連絡が遅れないよう、瞬時の判断が必要とされる。
- ・積極的疫学調査を実施していない市では、一人でも感染者があると即園を止めてしまい、保護者の生活にも影響が出てしまう場合があるが、所沢市は調査を実施した上で対応しているため、混乱は最小限に抑えられている。

◎学校教育部長

- ・先週末は学級閉鎖を2件行ったが、大きな混乱は生じていない。
- ・行事については、感染防止対策の徹底をしながら、行っていく方向性で検討中。

(4) 新型コロナウイルスワクチン接種状況について

◎健康管理課長

以下のとおり報告を行う。

1 概要

- ・現在の集団接種会場は保健センター1か所のみ。
- ・令和4年3月から小児用ワクチン接種（5～11歳）を開始、市内23医療機関の協力を受け、接種を進めている。

2 現状

- ・医療従事者の派遣を含めた総合的な集団接種会場運営の委託を開始した。
- ・（令和4年4月18日現在）3回目ワクチン接種率
【65歳以上】85.5% 【12～64歳】34.2%
⇒ 3回目接種について、若年層の接種率向上を図るため、周知等を進めていきたい。

3 課題

- ① 4回目接種への対応
実施に向け、現在国の審議会にて対象者や接種間隔等について議論されている。
- ② 武田薬品工業株式会社ワクチン（ノババックス）への対応
本ワクチンが承認予定のため、速やかな接種体制構築のため検討が必要。
- ③ 健康被害への対応
接種後の健康被害の相談が増えている。

◎副市長

- ・健康被害の相談は、副反応についてのものなのか。

◎健康管理課長

- ・単なる副反応のみならず、入院となったケース等の相談が増えてきている。
- ・これまでの相談件数は約40件で、審査を行い給付となったのは1件。給付を受けるための必要書類が多く、手続きも煩雑なため、実際に申請を希望する人が少なかったと思われる。

◎健康推進部長

- ・接種することによる副反応のリスクやそもそもワクチン接種ができない人もいるため、接種を強制することはできない。市としてはこれまで同様、市民への周知に努め、接種を希望する人への接種を進めていくしかない。

◎教育長

- ・ワクチン接種により感染リスクが下がるのであれば、市として周知を行い、接種率を上げていただきたい。
- ・感染経路はほとんどが家庭内感染であり、学校では感染防止対策を徹底しているため、家庭での感染対策が特に重要だと思われる。
- ・子ども達にとっては学校で過ごす1日はかけがえのないもの。感染者が出ると学級閉鎖のリスクもあり、いつまでも教育活動が正常化されない。
- ・感染者を減らし、教育活動を正常化するためにも、皆の協力が不可欠であり、そのためにワクチン接種を進めていくためには、3回目接種率を上げていかないと、今後の4回目接種も進まないのではないかと。一部の人だけが接種するだけでは効果は薄いと思う。

◎市長

- ・国全体で感染防止対策と社会経済活動との両立を目指しているが、感染を完全に抑え込むのは難しい。
- ・その中で、どのように日常生活を取り戻していくか(例えば、マスクを外す時期やタイミング等)は、市としても考えていく必要がある。

◆次回会議予定

未定

3 閉 会